

令和8年度 須加地区市政懇談会(7/29開催) 事前要望等回答一覧

No.	自治会名等	意見・要望等	所管課	回答
1	須加第八区自治会	【空家について】 空家から草木や竹などが道路や隣家にはみ出している。 市で伐採してもらえないか。	建築開発課	空き家の樹木や雑草の管理不全は全国的な問題であり、本市といたしましても、大きな課題のひとつであると認識しております。 市では、管理不全となっている空き家の所有者に対し、樹木の伐採や剪定、除草等の指導を強化しているほか、空き家の解体費用を補助するなどさまざまな対策を講じているところです。 原則、空き家の維持管理は、空き家の所有者が適正に行うべきでございますが、道路通行上危険を要するもの、又は防犯上伐採が必要なものにつきましては、応急的に市で対応せざるを得ない状況も考えられます。 具体的な場所などを確認したいと存じますので、担当窓口にご連絡くださいますようお願い申し上げます。【担当窓口：建築開発課空き家等総合相談窓口】048-550-1551
2-1	須加第十二区自治会	地域防災力向上のため、安否確認用タオルを活用したいと考えている。補助制度や支援策について情報提供または制度化を検討してほしい。	危機管理課、消防本部予防課	安否確認用タオルは、災害時における地域の安否確認に有効な手段であると認識しており、市内においては、既に安否確認用タオルによる訓練を行っている自治会があると伺っております。 ご提案の安否確認用タオルの補助制度創設につきましては、不要なタオルを集めて判別しやすいマークをつけるなど、費用をかけずに対応できる場合もございます。市といたしましては、安否確認用タオルを活用している事例を調査研究するとともに、出前講座などの機会を通して情報提供してまいりたいと考えております。 また、安否確認タオルを活用する際は、地域でどのような情報を伝え、それをもってどのような活動を行うのか、また、何を表示するのかなどの意識の統一や普及活動が必要となりますので、先ほどの出前講座などの機会を通じて活用方法をご紹介しますまいります。

No.	自治会名等	意見・要望等	所管課	回答
2-2	須加第十二区 自治会	地域防災力向上のため、感震ブレーカーの設置を推進したいと考えている。これらに対する補助制度や支援策について情報提供または制度化を検討してほしい。	危機管理課、 商工観光課	感震ブレーカーの設置につきましては、大規模地震発生時の通電火災を未然に防ぐ有効な手段であると認識しております。 一方で、感震ブレーカーは、地震時に自動的に電源を遮断する仕様であるため、照明や家電製品が使用できなくなる場合がございます。特に夜間の被災時には室内が暗くなり、避難経路の確認が困難になるなどの危険性も懸念されることから、補助金の創設につきましては調査研究してまいります。 また、市では、市民の方が市内事業者を利用して住宅をリフォームする場合、その対象経費の一部を補助する「住宅改修資金補助制度」を実施しております。 当該補助制度は、主に内装や外装など建物の本体工事を伴うリフォームを対象としておりますが、リフォームに伴う工事に付随して、現在設置しているブレーカーを感震ブレーカーに交換するなど、建物の本体工事と一体的に実施する場合は補助の対象となります。 なお、感震ブレーカーなど電子機器等のみの交換・修繕は、補助の対象となりませんのでご注意ください。

No.	自治会名等	意見・要望等	所管課	回答
3	須加第十二区 自治会	今後の猛暑対策として、公共施設におけるグリーンカーテンの設置に加え、市民や事業者など含めた、市内全体での取り組みを拡大するための支援制度や普及啓発を行う考えについて伺いたい。	環境課	グリーンカーテンは、ツル性の植物で作る自然のカーテンで夏の暑さを和らげ、省エネ効果やヒートアイランド現象の緩和、さらには美しい景観づくりに貢献するなど、大変有効な取組であると認識しております。 本市では、各施設管理者、個人、事業者の判断において実施しておりますが、このたびのご意見につきましては、今後市が実施する地球温暖化対策（猛暑対策）の参考とさせていただきます。

No.	自治会名等	意見・要望等	所管課	回答
4	須加第十二区 自治会	異常気象（局地的豪雨等）や将来発生が想定される大規模地震などの自然災害について、市としてどのような被害想定を行っているか伺いたい。	危機管理課	市では、多発する自然災害に対応するため、多岐にわたる被害想定を行っております。 地震では、埼玉県が平成24年度から平成25年度に実施した「埼玉県地震被害想定調査」で発生が想定される地震のうち、市内で最大震度7が想定される「関東平野北西縁断層帯地震」をはじめ、今後発生が想定される「首都直下型地震」「南海トラフ地震」「茨城県南部地震」等においても震度5強が想定されております。これらの地震により、建物倒壊や液状化現象、ライフラインの停止などの被害が発生することが見込まれております。なお、市内で最大震度7が想定される「関東平野北西縁断層帯地震」では、全壊2,763棟、半壊5,190棟などの被害を想定しております。 また、近年では各地で地震が発生していることから、気象庁をはじめとした関係機関と連携を図り、情報収集に努めてまいります。 水害では、「利根川」「荒川」をはじめ、市内に多くの河川があることから、局地的な大雨や台風等による氾濫等を想定し、浸水する範囲と水深を示した浸水想定区域図等を掲載した「洪水ハザードマップ」を作成し公表しております。なお、利根川流域で72時間の総雨量が491mmを超えた場合における想定では、須加地区は、浸水が少なくとも0.5m～3.0m（1階床上浸水）、浸水が多いと3.0m～5.0m（2階床上浸水）の浸水により、須加地区に限らず、市内広域の家屋において、床上・床下浸水等の被害が発生することを想定しております。 竜巻災害では、平成25年9月に市内においても竜巻被害が発生したことから、竜巻被害の想定も行っております。加えて、地震・風水害による複合災害についても、大地震の後に台風や豪雨などの風水害が連続または同時に発生し、被害が拡大・長期化する事態を想定しております。 今後も、各地で発生する自然災害における各自治体等の取組を注視し、内閣府（防災）や国土交通省、気象庁等の国の機関における被害想定や防災情報を参考とし、地域防災・減災の取組を進めてまいります。

No.	自治会名等	意見・要望等	所管課	回答
5	須加第十二区 自治会	クビアカツヤカミキリ等による桜の被害に驚いている。 自宅でも樹齢約60年の桜を伐採せざるを得なかった。また須加12区集会地も桜の伐採が行われている。 2020年6月の市報などで環境課から繰り返し情報発信していたにもかかわらず、被害が拡大していることを懸念している。 行政と市民、地域団体がもっと情報を共有し、被害の早期発見・早期対応につなげてほしい。 ※ジョハリの窓（4つの窓）の指導強化をお願いする。	環境課	クビアカツヤカミキリによる被害とその対策につきましては、これまでも市報や市ホームページにおいて情報を伝えてまいりました。 ご指摘いただきましたとおり、クビアカツヤカミキリ対策は、早期発見・早期対応が非常に重要であると考えておりますので、今後も引き続き、周知に努めてまいります。 また、市では、令和7年度から9年度までを「集中対策強化期間」とし、市管理の被害木の伐採や薬剤防除を積極的に進めるとともに、クビアカツヤカミキリによる被害木の伐採及び薬剤防除を業者委託にて実施した費用の補助制度の実施により、市と市民の皆様が一丸となり、行田の豊かな緑と美しい桜を守ってまいりたいと考えております。

No.	自治会名等	意見・要望等	所管課	回答
6	行田市社会教育委員会議	【学校教育について（行田市報4月号市長方針説明より）】 市報4月号に掲載された市長方針説明において、「AIを活用した英語教育を市内全小・中学校に拡充して実施する」とあるが、そのメリットについて伺いたい。 教科指導や集団学習の中で、AIを活用する必要性が理解できない。 特に、小学校の段階は、基礎学力を、教師と児童とのコミュニケーションを十分に図りながら、読む、書く、話す、聞くの能力をしっかりと培うべきである。 ALTや外国語指導員の配置増員を望む。	教育指導課	英語を身に付けるためには、学んだ英語を実際に使って話すなど、表現する機会を多く持つことが大切です。しかし、従来の授業では、教師やA L Tが児童生徒一人ひとりと英語で会話できる時間には限りがあります。 このため、本市ではA Iを活用することで、児童生徒が自分のペースで英語を話す練習を行う機会を増やし、英語によるコミュニケーション能力の向上を図ってまいります。A Iの活用は、教師やA L Tに代わるものではなく、児童生徒一人ひとりの学習機会を充実させることを目的としております。 また、A L Tや外国語指導員につきましては、授業研究会等を通して指導力の向上を図るとともに、児童生徒の英語学習の充実につながるよう、効果的な配置に努めてまいります。

No.	自治会名等	意見・要望等	所管課	回答
7	行田市社会教育委員会	【改修工事について】 須加公民館の外壁及び見沼小学校入口駐車場の改修工事を早急に実施していただきたい。 特に見沼小学校入口の駐車場については、大きな穴ができており、車両の運転時にハンドル操作を誤ると事故につながる危険性があるため、早急な対応を要望する。	中央公民館、 教育総務課	本市の地域公民館は、建築後40年以上を経過している建物が多く、これまでに大規模な外部改修工事をしていない6館の改修工事を今年度から計画的に実施する予定でございます。 須加公民館につきましては、建築年度や劣化度等を勘案の上、来年度に設計委託を行い、令和10年度に外部改修工事を実施する予定でございます。なお、公民館利用に支障の生じるような緊急を要する修繕については、その都度、必要に応じて実施してまいりますので、ご理解いただきたいと思います。 また、見沼小学校の駐車場入口については、業者による現地調査・見積り依頼を進めており、早急に対応してまいります。

No.	自治会名等	意見・要望等	所管課	回答
8	行田市社会教育委員会議	防災行政無線による下校放送について、内容の確認を徹底していただきたい。先日の台風6号の際は休校であったにもかかわらず下校放送が流れていた。 また、これまでも短縮日課の日に午後の下校放送が流れることがあったため、放送内容の確認を徹底してほしい。	危機管理課	防災行政無線による児童の下校時の放送につきましては、現在、児童が安全に下校できるよう、教育委員会と連携を図り、放送日をあらかじめ設定した上で、放送しております。 先日の台風第6号による臨時休校の際には、臨時的な放送対応ができず、ご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。今後、このような問題が発生しないよう、教育委員会との連携をより密にし、迅速かつ適切な対応を行ってまいります。 今後も、防災行政無線放送につきましては、できる限り適切な運用を心がけてまいりますので、ご理解ご協力をお願い申し上げます。
9	行田市社会教育委員会議	行田市交通災害共済加入申込書の記載について、「合計 人×500円＝ 円」となっているが、「合計 500円× 人＝ 円」の表記の方が分かりやすいため、訂正を検討していただきたい。	交通政策課	ご指摘ありがとうございました。現在の様式に慣れている方もいらっしゃることも考えられるため、いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。